

令和3年3月13日

当院における新型コロナウイルス感染者の発生につきまして(第1報)

松阪中央総合病院
院長 三田 孝行

令和3年3月12日(金)当院入院病棟に勤務する看護職員が、新型コロナウイルスに感染していることが判明いたしました。

当院では、感染の発覚後直ちに、感染者との接触が疑われる患者さまおよび職員のリストアップを行い、PCRおよび抗原定量検査を実施した結果、同日中に全ての患者さまおよび職員の陰性を確認いたしました。

また、感染の判明後、直ちに当該病棟内全てのエリアおよび関連する諸室の消毒を実施いたしました。

なお、3月13日以降の診療体制につきましては、松阪保健所の指導に基づき、安全を確保した上で、以下のとおりとさせていただきます。

入院：当該病棟への新規入院の停止

外来：通常どおり

手術：通常どおり

救急：通常どおり

上記以外につきましても通常どおり運用いたします。

今後も患者さまと職員の安全を最優先に考え、保健所の指導および関係機関のご協力のもと、感染拡大の防止に努めてまいります。

ご不便ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

以上